婦選獲得同盟會報 (11)

全日本婦選大會豫告

□時　日　四月廿七日(日)午后一時
□會　場　四谷霞ケ丘日本青年館
□主　催　婦選獲得同盟
□出席者　各地方代表婦人約二百名
(宿泊料本會負擔本會支部出席者には旅費をも補助す)

我が婦選獲得同盟會員諸姉よ。

總選擧も終り、臨時議會は今や數旬の後に開かれます。私共はこの議會を目指して、婦選獲得の要求を揭げて猛進せねばなりません。そして私共の叫びが、全日本婦人大衆の叫びである事を、如實に示さねばなりません。

茲に本會は、萬難を排して全日本婦選大衆を敢行し、全國各地の同志の出京を促し、全日本婦人大衆支持の下に、臨時議會への一大示威運動を行はうとするの計劃を諸姉に發表する事を心から欣ぶものであります。

出席規定、其他計劃の詳細は、婦選四月號及び會報次號によつてお知らせいたす事となりますが、丁度本會第四年次總會の時期にも相當しますので、何卒會員諸姉の一人でも多くの御出席が願はしく、取急ぎ、右の計劃の大體を、告知する次第です

昭和五年三月

婦選獲得同盟

婦選獲得同盟第七年年次總會豫告

時　日　四月廿八日(月)夜六時半
會　場　麹町區內幸町大阪ビル集會室
會　費　五十錢

二月會計報告

會計理事　坂本眞琴

▼收入の部	一三五五、四三
內譯	
繰越	五〇、六三
正會員費	一〇三、五〇
會友費	六、〇〇
維持費	四五、〇〇
寄附金	一一五〇、三〇
▼支出の部	一三二一、二二
內譯	
返濟	三〇、〇〇
俸給、手當	二一二、〇〇
家賃	四二、〇〇
光熱	三、一六
文房具	九、八九
通信	四三、四〇
電話	一、三五
交通	五、九五
雜	一四、一〇
議會	七、六一
政敎	八五六、七一
財務	七、七〇
出版	五〇、〇〇
調査	四、一〇
會報	三一、八五
印刷	一、四〇
▼差引殘高	三四、二一
▼寄附金內譯	
田中儀一氏(母堂逝去ニ付)	一〇、〇〇
井上たみ氏(特別寄附一、二月分)	二〇、〇〇
早川甲子氏	三〇、〇〇
太田菊子氏(特別寄附)	一〇〇、〇〇
吉岡彌生氏(議會運動費へ指定寄附)	一〇〇、〇〇
市川房枝氏(給仕事務員手當)	五〇、〇〇
林　歌子氏(特別寄附一、二月分)	二五、〇〇
三谷民子氏(同上四年度ノコリ及五年度第一回分)	三〇、〇〇
藤井まさ子氏(同上二月分)	一〇、〇〇
革正運動資金寄附	七七五、三〇
▼返濟金	
金子氏へ	三〇、〇〇

本月は大々的に革正運動をいたしましたに拘らす、借入項目のない御報告を申上る事の出來ました事は、會員諸氏の御熱心な御後援を頂きました故と深く御禮申上ます。

政治教育部の支出の多い事は、婦選が最もよく活動してゐる事で、諸般の御報告と併せて御らん頂き度く存じます。

が、大きな活動のあとは、亦財務委員會の最も苦しむ時なので、これからまた馬力をかけて大に働らき、また喜ばしい御報告をし度いと思つて居ります。

中央委員會報告

第二十三回定例中央委員會報告

期日　二月七日(金)午後六時半
出席者―大橋、藤原、武田、渡邊、市川、八木橋(協)
欠席者―久布白(病) 藤間(病) 千本木、田中、山本、藤田(以上無屆) 河崎、坂本、金子(以上出張)

一、報告
1 地方演說會の其後の交渉結果
2 東京最寄り會の其後の交渉結果
3 其他婦人團體への書面、印刷物費用の報告

二、協議
1 事務所の留守番の件
八木橋氏、大橋氏に依賴する事
2 選擧の前後に特別の候補者に激勵文及祝狀發送の件
なるべく此面にて、提出者第一回の選擧並に市會選擧等にて推薦したる候補者等宛出すこと
3 選擧後報告會を開催するの件
廿三四日前後の午後にすること
4 坂本、金子氏留守宅見舞の件
約二圓位のものを持參大橋氏に訪問を願ふこと

第二十四回臨時中央委員會報告

二月十七日午後九時半より(最寄り會終了後開會)
出席者―大橋、藤田、渡邊、市川

一、協議
1 十九日午前十一時より午後二時までリーフレットの殘り一萬五千枚を市內六ケ所にまくこと
(担分、四谷見付、本郷三丁目、牛込肴町、數寄屋橋。駿河臺)
2 二十二日午後一時より報告會開催すること
會場レインボウ、一月廿六日に招待せる婦人團體を招くこと
分擔其他は二十一日の中央委員會に於て決定すること

第二十五回定例中央委員會報告

期日　二月二十一日(金)午後七時より、事務所にて
出席者―久布白、千本木、藤田、坂本、河崎、武田、金子、大橋、藤原、市川
欠席者―田中(無屆) 山本(無屆) 渡邊(事故) 藤間(無屆)

一、報告
1 九州、關西地方遊說　坂本
2 北陸地方　市川
3 革正運動會計
市川より概算の報告を爲す、總額約九百圓、會員よりの寄付百六十余圓にて豫定を超過す

二、協議
1 二十二日の革正運動報告會に關する件
報告の分擔決定
2 第六年次總會の件
四月上旬にすること、特別議會開會の時日に考慮して決定すること、總會に關する具體案を河崎、藤田、市川の三氏に作成を乞ふことに決定

會費と誌代について

去年の一月二月三月に御入會の方々の會費が切れましたから、本月中にお拂込み頂きたう存じます。

又雜誌「婦選」は宣傳の爲十一月號より毎月御送り申上げて居りますがまた購讀申込も、中止の意志表示もして下さらぬ方が多數である爲、整理に困つて居ります故、これ亦何卒出來るだけ御購讀いたゞきたく、會費も誌代も振替を御利用いたゞきたく存じます、

二月の日誌

三日　(月)編輯會議開催
四日　(火)東京もより會の打合會
五日　(水)金子氏夜行にて九州に
六日　(木)坂本、河崎二氏九州へ出發
七日　(金)中央委員會開催。別府講演會(坂本、金子二氏)
八日　(土)市川氏金澤へ向け出發 坂本講演會(金子、坂本、河崎氏)
九日　(日)金澤講演會(市川、竹內氏) 別府演說會(河崎、坂本、金子氏)
十日　(月)新潟講演會(久布白、市川氏) 廣島講演會(金子氏)
十一日　(火)神戸座談會(河崎、坂本、金子氏) 栖吉講演(市川氏)
十二日　(水)市川氏夜行で歸京
十三日　(木)德島講演會(金子、坂本、新妻氏) 市川氏名古屋選擧批判演說會に出席の爲に出發 第二回最寄り會開催
十四日　(金)德島愛國婦人會に於ける講演(金子、坂本、新妻氏) 市川氏歸京、藤田市川兩氏夜行にて柏崎へ向け出發、第三四區もより會開催
十五日　(土)福知山講演會(金子、坂本氏) 柏崎講演會(市川、藤田氏) 第五區もより會開催、會報發送、河崎氏前橋へ
十六日　(日)新舞鶴、綾部講演會(金子、坂本氏) 前橋講演會(市川、河崎、藤田氏) 第六區もより會開催
十七日　(月)京都講演會(金子、坂本氏) 第一區もより會開催 臨時中央委員會
十八日　(火)松本講演會(金子、坂本氏)
十九日　(水)市內ビラまき
廿日　(木)金子、坂本二氏歸京
廿一日　(金)中央委員會開催
廿二日　(土)地方遊說報告會をレインボーに開催。夜「婦選」座談會、新宿中村屋
廿七日　(木)雜誌編輯に多忙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寫眞說明（上より）熊本講演會　前橋講演會　金澤支部の人々　東京のビラまき（右）革正選運動報告會（左）

反響一束

□

前略講演會後の一般の反響が多いので、主催者一同大變喜んで居ります。どこへ參つても茶の間や客室で婦選の話が持ち切りです。此の分ならば支部が出來さうに思へます、又何かの機會を得て更に御來遊下さる樣お祈りして居ります。（德島、坂口あさ）

□

連日連夜の御活動の後御疲れになつていらつしやるところわざ〳〵私共のためにいらして下さいまして、本當にありがたう御座いました。お集りでした方々が少くて殘念で御座いましたが皆樣が御滿足下さつて本當にうれしう御座いました。あの夜の寫眞が新聞に出て居りますので切り拔いてお送りいたします。又關西の方へいらつしやいましたら是非〳〵御立寄り下さいまし。不便な所きたいと思つてゐた念願がやつと屆いた事をほんとに嬉しく存じて居ます。御急ぎの御旅行であつけなく存じましたけど、その短時間の間に何かと御指示いたゞき、今後の歩みの上に非常に好都合に存じます。（中略）昨日一日疲れを癒して、又元氣百倍、當日の入場者もかつて見ない多數で盛況を極めたので會員の慰安會計畫中。いづれも同じ遊ぶ事には拔け目のない連中ばかり。本部の皆樣によろしく御傳へ下さいませ。（金澤、駒井靜子）

□

河崎樣、金子樣、坂本樣御三方ともさぞかし御つかれの事と存じます。當地その後の評判ます〳〵上等、何しろ熊本に於ける婦人の集會としては空前の大々成功でしたので、前の苦境にひきかへて私共も面目至極です。九州新聞は御三人の御話を要約して、一日一人よみ切りとしてのせてゐます。九州日々新聞からたのまれましたが、御三人樣でもよしその中御一人樣でもよし「熊本の女性に時はお立寄りを願ひたいと申してゐます。支部發會もやりたいと。（中略）お預りしましたパンフレットは今日夕刊に折込みをする樣にいたしました。二十日の選擧日に近い方がいゝと思ひまして。ではこれで。（別府、辛島昭子）

□

先日よりは極寒の砌りを寸暇もあらせられず、ゆる〳〵溫泉に御浸り遊ばす事も出來ませず如何に御疲れの御事かと御案じ申上て居ります。實に〳〵私共に與へられました婦選に對する御教育は大變な力となりました事を厚く感謝いたして居ります。それと同時に今迄婦人聯合會設立を永年希望しながら宗教の相異其他いろ〳〵のこだはりの爲め、なし得なかつたものが婦選、選擧革正の叫びにより意外にも急速度をもつて、こゝに別府市婦人聯合會の設立せられました事も、これ皆先生方の偉大なる御力の賜物と永久にこの機を記念せらるゝ事と私は大變うれしく存じて居ります。又一方、この政爭の激した。そして此度のお話が大成功を奏した事を御知らせ申し上げたく、つたないペンを走らせました。それは當然の事では御座いますけれども河崎、坂本兩先生へも呉々もよろしく御つたへ下さいませ。（別府、田邊みつの）

□

前略　諸先生には長途の御旅行の御疲れも出で不申候や御案じ申上候。昨年以來、一度本部の方に御目にかゝり親しく御話伺ひ度と存じ候折から、先日は御面識相かなひ誠に嬉しく存じ候。本日神戸國際婦人會に出席いたして婦選獲得同盟の事を講演後御茶の席上にて御紹介いたし、諸先生の熱心なる御活動ぶりを御話し申上し所、四名の方直ちに御入會下され候。講演會後同會の教育部の會合あり候爲時間之なくたゞ一邊の紹介のみ、是にて大勢の方々に特に御入會を御すゝめするわけに參らず甚だ遺憾と存じ候へ共、何とか其中都合をつけ社會部の會を開き、御會の事を問題として御集りの方々に特にと思ひます。去十九日出の御葉書は昨廿一日午後漸く屆きましたので迚ても二十二日の午後の報告會には間に合ひません。實は此度の報告は桑野樣が遊ばす事になつて居りましたので直ぐに電話でお葉書の趣きは申上げて置きましたから近く御送り下さることゝ存じます。次に雜誌二十部はたしかに受け取りましたから御安心下さいませ。普選第二次の總選擧の結果は選擧の革正などは夢と消えました。壓迫に次ぐに壓迫、買收に次ぐに買收、實に慨はしい今日、是非共婦選獲得の日の一日も早からん事を神かけて祈り上げます。時節柄御身御大切に主義の爲め御奮鬪を祈り上げます。（柏崎、田中きん）

□

此度の廣き御活動の御効果は大した物にて厚く御禮申上ます。實に時季的御効績は見逃す事は出來ませんお蔭樣で演說會としては第一と言ふ好評を博しました。若き婦人の少數な理由は入場の際不慣れの爲め多く引返したと言ふ報は後で判りまし

地方遊說報告

九州地方

地	日時	會場	主催	聽衆	辯士
別府	二月七日夜	聖公會	婦風會支部主催	來會者　二五〇	（坂本、金子）
同上	同十日夜	公會堂	別府婦人聯合會主催	六〇〇	（坂本、河崎）
熊本	二月九日后	公會堂	婦人問題研究會主催　縣聯合婦人會後援	二〇〇〇余	（同上）

中國地方

地	日時	會場	主催	聽衆	辯士
廣島	二月十日夜	公會堂	廣島婦人ホーム主催	同　一〇〇〇	（金子）

四國地方

地	日時	會場	主催	聽衆	辯士
德島	二月十三日(晝)(夜)	千秋閣	德島毎日新聞社主催	同　八〇〇　九〇〇	（坂本、新妻、金子）
同上	十四日(晝)	赤十字社樓上	愛國婦人會支部主催	五〇	（同上）

關西地方

地	日時	會場	主催	聽衆	辯士
神戸	二月十一日后	大朝支社樓上	神戸聯合婦人會主催	六〇	（坂本、河崎、金子）
福知山	十五日夜	公會堂	時事研究會主催	一五〇	（坂本、金子）
新舞鶴	十六日后	稻荷座	中丹時報社主催	八〇〇	（同上）
舞鶴	同　夜	公會堂	同	六〇〇	（同上）
京都	十七日夜	同會	基督教女子青年會	六〇	（同上）
名古屋	十三日夜	西別院	新女性社	一五〇〇	（市川）

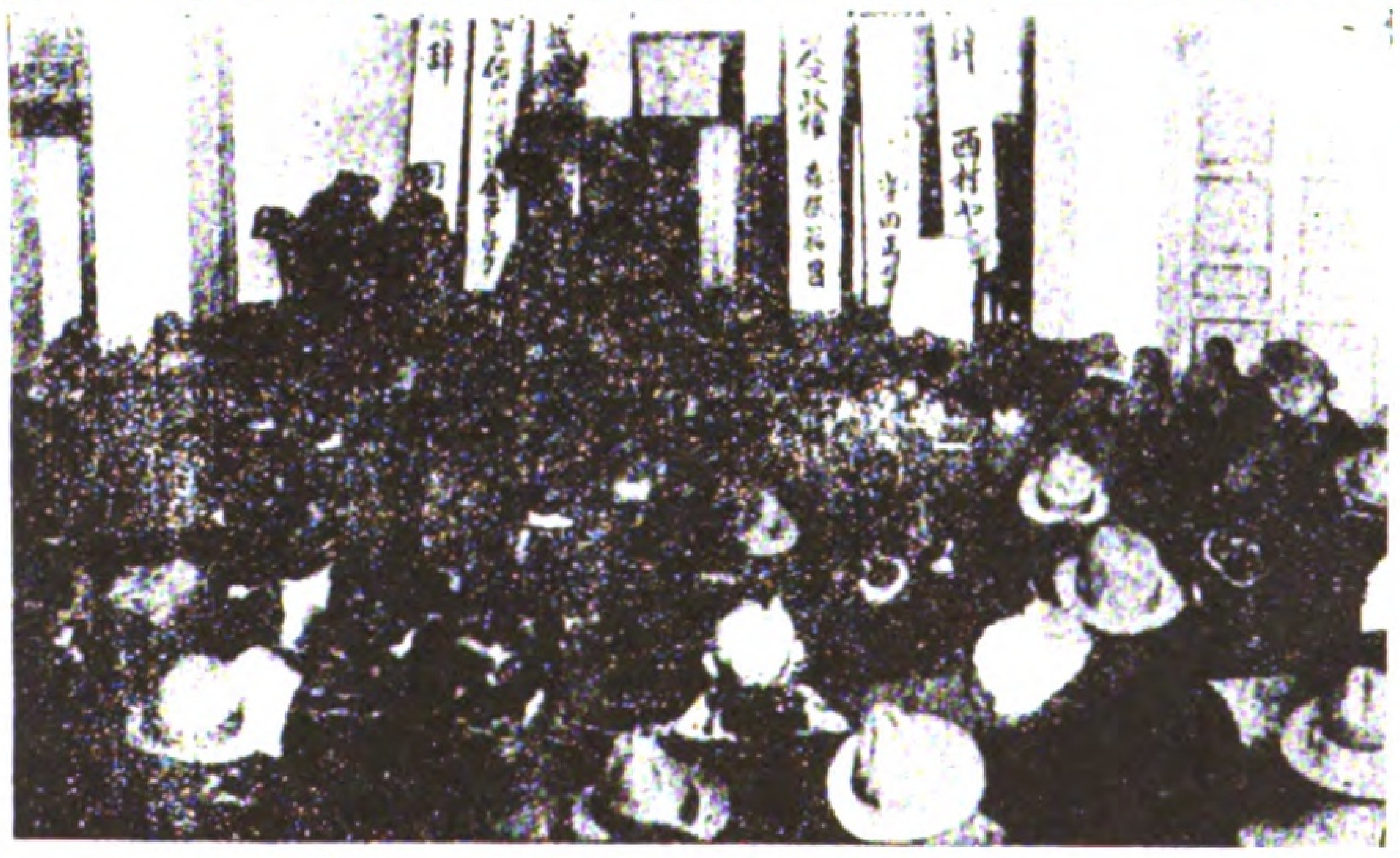
中部地方

地	日時	會場	主催	聽衆	辯士
松本	十八日夜	公會堂	松本婦人會　女子青年團共同	一二〇〇	（坂本、金子）

北陸地方

地	日時	會場	主催	聽衆	辯士
金澤	八日后	公會堂	支部主催	八〇〇	（市川、竹內）
新潟	九日夜	大明座	同	一五〇〇	（市川、久布白）
長岡市外	十一日后	小學校	會員有志	四〇〇	（市川）
栖吉村	同夜	寺院	同上	一五〇	（市川）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



寫眞說明（上より）神戸座談會　徳島講演會（晝）同演說會（夜）
廣島演說會の狀況

で御座いますが御宿はいつでもさせて頂きます。御働きの上に祈つて居ります。（京都、女子青年會原田文子）

□

先日は御疲れも御いとひなく、廣島婦人のために御ねんごろな御講演を下さいました事を有りがたく御禮申上ます。其後一般の評判もよろしく、御蔭樣で今後婦選のために立つ婦人に多大のヒントを與へて下さつた事と思ひます。只殘念なのは座談會が出來ず、折角の集合を統一することが出來なかつた事で御座いますが、二十人位の會員は六ケ敷くないと思ひますから、この氣分のさめない中に會員を勸誘して基礎を作つて置きたいと、皆々運動して居りますから此後共よろしく御願ひ致します。あの翌日例の印刷物や書物がとゞきましたから書物は希望のものに頒ちまして代金は集り次第送りませう。印刷物はなるべく有効に配布致しますから御安心下さいませ。（廣島、西村ヤス子）

□

今度は御多忙中を私達の爲に御運び下さいまして誠に有難う存じました。發會式當時から是非一度來て頂のこす言葉」とか何とかいふ原稿を御たのみしてくれとのこと。ずゐ分苦勞もした代りに一仕事しとげた愉快さを存分味ひました。これで熊本の屋體骨が全部動いたわけです。本當に御つかれ有り難う御座いました。又熊本に今度は氣持いゝ歡迎のうちにゆつくり開拓された土地と、この安心をもつて大舉御來遊遊ばして下さい。水前寺も阿蘇山も花岡山も本妙寺もその折御とも申上ます。（熊本、山下恒子）

□

金子先生。さぞ御疲れになつておかへりの事と思ひます。お歸へりになれば又仕事の山、ほんとに浮ぶ瀬もないと、ふつと雲の如く思ひ浮ぶ事もおありだつたでせう。日本婦人の第一歩をよりよきために先を歩んでゐられるだけに、夢にも病氣は致さない樣にして下さいませ。お疲れ位はまだしも。

別府にお話を殘されました事も大變に別府市民に取つて好い結果をもたらしたと思ひます。特に思ひがけなく男子から、女子から「好かつたですね」と言ふ事を耳に致してうれしく思ひます。今後是非おついでのしい地に於て主に民政黨主腦者夫人（婦風會幹部以外の）方が入り交つてゐられた事とて地方民に如何なる結果を思はしめるかと私は一人ぢつと見て居りました。翌十日の各新聞紙によつて、其の樣子は充分表はれる事と期待して居りました所、これは不思議どの新聞紙も一齊に口をつぐんで何も書いて居りません。何か種があればと、地方の小新聞の事ですから婦人の何かの催しと言つたらいつも仰々しく書き立てるものがあれ程の運動を一言も書かないと言ふ事は私は意外で御座いました。會を開いたと言ふ事さえこの地方大新聞は民、政、いづれも書いても居りません。只こゝに封入の大別府新聞は別府に於ける政友會の機關新聞で御座いますが、六日の日附をもつて、總選擧に對し婦人の奮起を促すと題して大變私共に共鳴した事を書き、丁度先生方の御講演そのまゝの樣な事を書いて居りますが、おかしくも又有り難いと存じました。先生方の御講演、私共の催しに對して問題にふれずにゐる事は眞の底に兩黨ともに革正の大なる力と婦選による時の其偉大な力を思つたからだと考へま

御話致し度心つもりに御座候。果して効果あるや否やは疑問に候へ共、一人でも多くの方に御入會を願ふつもりに御座候間右御含み置被下度候（兵庫、岩村幸）

□

前略　もう東京へ御歸へりの頃だと思ひますのでお手紙差上げます。御來徳の節は失禮致しました。先日の講演會の反響は素晴らしいものです。毎日新聞に投書が舞ひ込んでゐます。昨日は某夫人から。今日は杉本まつ子といふ女性から。徳島毎日新聞はそれを次ぎ〳〵に新聞紙上に發表してゐます。いづれ坂口さんからお送りすることゝ思ひます。私は其等の人々に働きかけてゐます。ついては入會申込書其他を御送り下さい。支部を作るに必要な注意事項等至急お知らせ下さい。私の病氣も殆ど全快に近いので、回復し次第斷然活躍し樣と思つてゐます。（徳島、藍谷絢子）

□

此間は御多忙中御苦勞樣で御座いました。御蔭樣で私共同志の者の胸のつかへが下つた樣に存じました。民衆に與へた影響も大變に多かつた。あれでも六百五十の入場が有りました。急激的な企てとしては男子方より驚嘆されました。是れに刺激されましたかして、其後の演說會にも婦人が多數入場することを聞きました。實に御同慶に堪へません。兩黨の黨格、人格比較の頭が目醒めまして今度の第二普選には地方の端々までも婦人の內助的活動が多大であつた事は我々の感ずるところであるばかりでなく、大阪朝日にも書かれて有りました。（中略）

今一つ、喜びに堪へぬ事は與黨側は何時も手段、方法が巧みなので此節當地與黨側の運動員は市外の事は知りませぬが市內の事務所入口は見舞の酒樽がつまれて有るのに係らず一つも手にする者なく、終始眞面目と緊張で通し得て居る樣子と聞く度に思はず涙が湧出しました。（中略）

一日も早く淸き一票を婦人の手にまかせられん事を祈つてやまない次第は選擧淨化は之によりてこそ始めて實現する事を信じて疑ひませんからです。諸姉の方々も益々御勉勵遊ばされて我々婦人、否國家民のため御努力下さいます事を念願致す次第で有ます。（別府、平尾時）

柏崎　幼稚園　十五日后　支部主催　五〇〇（市川、藤田）

關東地方

前橋　臨江閣　十六日后　上毛新聞主催　八〇〇（市川、藤田、河崎）

講演總回數　二一
聽衆總數　一四〇四〇人
講演者回數別

金子	一四
坂本	一二
市川	七
河崎	四
新妻	三
藤田	二
久布白	一
竹內	一

選擧革正運動決算報告

一、支出總計	九六二、〇二
1.遊說費	六五一、五三
內譯	
汽車賃	二五二、七五
急行券	二四、九〇
寢台券	四五、〇〇
船賃	五四、三二
自動車	三四、八八
宿泊料食事	六一、五二
手當	一五〇、〇〇
雜費	二八、一六
2.東京に於ける運動費	六九、四四
內譯	
座談會費	二八、〇四
婦人團體懇談會	二二、二〇
もより會費	五、五〇
ビラまき費	六、八〇
報告會費	六、九〇
3.候補者への問合	二七、五〇
4.印刷費（會報號外リーフレット說明書）	六一、〇〇
5.通信費	八八、四八
6.雜費	六四、〇七
一、收入總計	九六二、〇二
內譯	
某夫人寄附遊說費へ	二〇〇、〇〇
某氏寄附革正費へ	一〇〇、〇〇
一般會員寄附	二一五、三〇
遊說收入	二七六、〇〇
本部より補充	一七〇、七二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

選擧革正運動

本會の第二次普選總選擧に對する活動（二）

會報第十號誌上で報告した其後に於ける活動を記載することゝする。

◇立候補者よりの回答

立候補者八百余名に発出した往復はがきに對する回答は全部で六七通に達した。總數の一割にしか相當しない不成績であるが混雜の際已むを得ないであらう。回答中

（一）有二三名　無三五名
　不明瞭　九

（二）有三三名　無二五名
　不明瞭　九

（三）承知五二名　否二名
　考慮中六名　不明瞭七

で、（一）に對しては這入つてゐないが入れるべきであつた、といつたのもあり、（二）もこれから普及しますと附言して來たのがある。回答者の黨派別は無產黨最も多數で後は民政、中の順序であつた。

◇一般婦人團體と革正運動

他の婦人團體を動員すべく、會合または書面等で働きかけたが、あまり見るべき結果が得られなかつた。只日本キリスト教女子青年會が各支部へ働きかけ京都と東京の女子青年會が講演會を開いたのと楓會の有志が淺野川で演說會を開いた位であつた。全關西聯合婦人會は最初本會から革正演說會の共同主催を申込んだ際は、一切運動をしないと斷つて來たが、後、革正運動のために立つたのは結構であつた。

◇地方革正講演會

前號の豫定表に掲げた如く東北を除いては、殆ど全國の各地に開會され、豫想外の成功を收めることが出來た。

各地の狀況は『婦選』三月號に掲載したから本誌では省略し、別項の一覽表を掲げるに止めた。

◇東京最寄り會

これも前號豫定表の如く選擧區別で五ケ所で開いた。第一日の伊藤錦子氏方の會合には會員十余名、同氏方の學生十余名といふ盛會で、中央委員渡邊氏の司會の下に開催された。第二日の前島氏方のは場所の關係乃至は時間の後であつたか、前島氏と大橋、曝原氏だけであつた。第三日の婦女新聞社では十名程で曝原、大橋、武田の三中央委員が出席して懇談をした。第四日の市川氏宅はこれも午后のためか來會者がなく、第五日は地方から歸つた市川、藤田、兩氏の出席をみ約十名、遲くまで快談した。

地方演說會の盛況に比し、東京の最寄り會は甚だ振はず遺憾であつた。

◇東京ビラまき

ビラ撒きは人手の少いのを心配して迷つてゐたが、革正運動の最後の締くゝりをするために、選擧の前日の十九日に行ふことに決定、十八日それ〴〵屆をすました。

數寄屋橋際は不許可のため、四谷見付、新宿追分、牛込肴町、本鄉三丁目、神田駿河台下の五ケ所で午前十一時から午后二時まで『婦人は總選擧に何をなすべきか』のリーフレット約三萬枚を通行人に手渡しした。

事務所の市川、兒玉、野津、小泉に編輯の森、中央委員の渡邊、藤間、久布白、會員の三島、安宮、北澤、宮本、梶山の諸氏の他、竹內氏、河本、藤間氏方から數名のお手傳ひが出ていたゞけた爲め、人手の心配はいらなかつた。

◇革正運動報告會

地方遊說隊も全部歸京し、總選擧の結果も殆ど大部分判明した二月廿二日の午后一時から革正運動の報告會を開催した。會場はいつもの大阪ビルのレインボーで、中央委員武田勝子氏司會の下に左の順序で行はれた。

一、開會の辭　武田勝子
一、革正運動の一般報告　市川房枝
一、地方遊說報告
　1. 金澤、新潟、長岡　市川房枝
　2. 柏崎、　藤田たき
　3. 別府、熊本、廣島、名古屋　金子茂
　4. 德島、福知山、京都、松本　坂本眞琴
　5. 神戸、前橋　河崎夏子
一、東京最寄り會報告　大橋豐喜
一、東京ビラ撒き報告　渡邊とめ
一、革正運動會計報告　兒玉勝子
一、茶菓
一、出席者の選擧についての感想

地方遊說の報告は何れも極めて興味あるもので、時間の充分でないのが惜しまれた。

出席者の感想は自己紹介を兼ねて行はれたが、これまた極めて興味あるもので、將來の活動を誓つた。此の日出席の豫定者は實は三十名程であつたが意外にも五十余名に達し、在京會員の選擧に對する關心の程が想はれて嬉しかつた。當日主なる出席者は中央委員を除いて左の如くであつた。

長野の赤羽根仙子氏夫妻、加藤高子氏、上中八重野氏、山中せん氏、佐藤爾子氏、北澤玉氏、三島英子氏、宮坂みち氏、瀨きく氏、和田くに氏、照井筱氏、岡田いし氏、前島ふく氏、前田つぎ氏、加藤ヒサ氏、井上たみ氏、中野てい氏、安宮淑氏、山本朝氏、石橋貞氏、稻川いね氏、山田翠氏、宮本きよ氏、石井淑氏、竹內茂代氏、服部惟義氏、河南勝子氏、田村氏、蒲倉みさほ氏、

新入會者

二月分合計　九〇名

正會員——七九名

伏見定子（基督教女子青年會紹介）田上妙子（小山しづ子紹介）加藤香枝子（渡邊とめ紹介）大野花子、二口他喜子、山本とん子、高田つい子（駒井靜子紹介）渡邊政子（直接）倉島あき、宮林初子（赤羽根仙紹介）平尾とき、（再入會）山戸一枝、西村ヤス、村上安惠、林秀子、進藤八重子、尾方また（金子茂紹介）坂口あさ、黑部妙、竹田よね子、大野秋子（坂本、金子紹介）陣內キイ、上野とめ、平岡市子、井上はる江、荒川みね、石野ため、草野小夾、成瀨春野、森ため子、大畑妙子、江崎眞、野田彰子、佐伯ハリ石川きい、龜井菊枝、松本キヨ、武田キミ、小松たかえ（河崎、坂本、金子紹介）木村悅子、本田よし江、相良春江、林たね、毛利ミツ（河崎なつ紹介）村岡花子（坂本眞琴紹介）多田伴子、山口秀子、黑川いね子、黑瀨久賀（岩村幸紹介）落合節子、渡邊トセ、宮川芳子、田中きん、內藤サツ、桑野靜、二宮すま、河崎まさ子、蓬澗茂子、田邊きく、丸田けん子、竹田くら、重澤茂子、三宮トキ、和田セイ、坂內みのぶ、飯島園枝、中村澄津、山利郁子、柴田とよ南城文子、眞中すゞ、吉野わか、戸田きん、丸山濱（市川房枝紹介）福谷絹枝（石橋貞子紹介）久田婉（永島外喜子紹介）石黑俊子、新田英津子（山野千枝子紹介）永田和子（佐藤園枝紹介）

維持會員——三名

長野千代子（大橋豐喜紹介）安井哲子（久布白落實紹介）平野松枝（金子茂紹介）

維持會友——一名

林毅陸（市川房枝紹介）

會友——七名

三谷復次郎、大竹寬（津川松尾紹介）近藤政則（堀場雪子紹介）高桑豐市小林喜一（市川房枝紹介）福田義正（永島外喜子紹介）竹下悅（金子茂紹介）

維持會員へ變更——一名

松宮しん子

退會者——七名

累計　一一六〇名
正會員——八九一名
維持會員——一一二名
會　友——一二六名
維持會友——三一名

革正運動募金報告

自二月十三日至三月十日受取高

合計　一二二圓七〇錢

內　譯

各一口——佐々木みつ、中島てい、八代よし子、武久喜美枝、坂根モ、枝、山田琴、中村つる子、前田つぎ加藤ひさ、西山あい、濱武たみ、善多恒子、宮本ひろの、西川喜久枝、福田義正、武妙子、向井英子、深美ユキ、久保山武雄、齋藤芳江、香川登子、皆川せき。

各二口——宮坂みち子、河崎和久子、安藤政子、北澤たま、杉田つる子、山中タイ、蒲田喜代江、田中よしの、田崎つる子、木村鈴賀子、高倉つね、小山堪子、小野誠子、平野理枝、森長、石橋貞子、丸山千代、二宮和佐、松村たか、永島外喜子、大久保音羽、兒玉琴枝、三島英子、和田邦子、加藤タカ、岡田いし岩橋しな、河井道子、深尾須磨子、清水せつ、田村千枝、木內キヤウ、飯島園枝、山中せん。

各三口と十錢——森崎しづ、森崎はるよ。

各四口——中山濱、稻川いね、小笠原益子、榊原彌生、與謝野晶子、大橋豐喜、清水たね。

各五口——宮崎妙子、網野惠、上中八重野、照井筱子。

各六口——小久保きの、石原良子

九口——小口みち子。

各十口——伊藤錦子、南部邦子、渡邊とめ、齋藤龍子。

各二十口——市川たま、竹內茂代

累計　二一五圓五〇錢

訂正——前號中、城殿、中條兩氏で二口、松源氏は一口のを會費と混同したため三口になつて居ります故訂正いたします。從つて累計は、前號の合計と本月の合計の總計より二圓少くなります。

尚まだ革正寄附の御申込も參りますが、整理の都合上、三月十日現在で、締切り、後は一般會計の寄附に繰込みますから、御承知下さいませ。

事務所だより

ホラ、お雛樣のお菓子—とこれは又珍らしい事に外から歸へつた市川さんのお土產。よくまあお氣がついてなどと申し上げるのはとんだ失禮でした。身長十五ミリ程の內裏樣さへどこからかころび出し（てこれはあとで聞いたらTのおばちやんと申す方が、紙袋に入れて下げて來て下すつたのでした）お菓子を圍んでのお節句の盛宴矢張りみんな女だつたのですね。

この頃空色のきれいな事務服が四枚づらつと障子際にかゝつてゐますひよつと裏をかへしてみたら目じるしのつもりでせうね、『丙午』『ふさ公』『ねこべえ』『ミッコ』って糸縫つてあるんです。一體どれが誰のだか一向見當がつきません。これで御本人どほしはよく判つてゐるらしいのですが。何でもしるしがないと、ノリの手やペン先を事務服でふく惡い癖のある人がゐるので、さうでない人はやりきれないからだといふことだけは判りました。

外には春雨がいとも春雨らしくなくざん〴〵とふりそゝいでゐます。古沼の樣な重くるしい靜けさです。

市川さんはさつきとなりの部屋へ引き下つて五つ六つならべた座布團の上へねてしまひました。『何だかねむい日ね』と二番目に正直な人が白狀しました。いづこも同じ何とかでとう〴〵ねむけざましに五目ならべが始まりました。あなたが黑よ、とか、二目置いていらつしやい、とか六目ならんでるのに氣のつかない樣な連中が口だけは一人前。その中には佐渡おけさや東京行進曲（これは小さい聲でおよみ下さい）なんかとび出したりしておかげで頭が澄んで來ました。そこへ起きて來た市川さん、これ何か知つてゐますかに答へて曰く『あゝ聯珠か』でがつかり。こんな婦選風景もあることを御紹介いたします。（事務所の鼠）

昭和五年三月十日發行
每月一回十日發行（非賣品）
編輯發行兼印刷人　市川房枝
東京麹町四ノ五
婦選獲得同盟發行
電話九段一七一九番
振替東京七〇三八三番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA